

『くりでん』保存活動推進業務概要

【募集にあたり】

平成19年（2007年）3月に惜しまれながら廃線となった「くりはら田園鉄道」（通称『くりでん』）。全盛期の昭和30年代には、沿線住民の通勤通学の足として、また細倉鉦山の貨物輸送を担う産業鉄道として活躍し、地域の発展に大いに貢献しました。

栗原市では、その功績と貴重な保存資料を後世に伝えるため、ミュージアムや芝生広場、旧若柳駅で構成する「くりはら田園鉄道公園」を平成29年（2017年）4月にオープンしました。旧若柳駅では、動態保存車両「KD95形」や「KD10形」による乗車会や運転体験を定期的に行い、家族連れや全国の鉄道ファンの方々に親しまれています。

車両の動態保存を続けていくために不可欠である、車両のメンテナンスや保線等の作業は、現在、1名の専属スタッフのほか、「くりでんOB」を中心とするボランティアスタッフがを行っています。しかし、スタッフの高齢化に伴い、専門知識や技術を受け継いだ後継者の育成が喫緊の課題となっていることから、主に車両の動態保存活動に従事しながら、他のスタッフとともにくりでん資産の保存と歴史の伝承に取り組んでいただける人材を募集します。

【主な活動内容】

- ①車両の動態保存に関する必要な知識や技術の習得・伝承
- ②動態保存車両等の点検、整備（整備に伴う車両の試運転を含む）
- ③線路や信号等の点検、整備（枕木交換を含む）
- ④乗車会や運転体験等のイベントの企画・運営及び若柳駅見学者への施設案内・説明
- ⑤その他、くりはら田園鉄道公園全体の管理運営やPR、「くりでん」を核とした地域活性化につながる活動

【資格・条件】

- ・本業務の趣旨を理解し、積極的に知識や技術の習得に励みながら、誠実に実行する意欲のある方

（必須ではないが経験値として考慮するもの）

- ・鉄道やバス等の車両整備や、線路の保線作業に従事した経験を有する方

